

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題>国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」の主語と述語の関係において、R5年度の市平均を-10pt程度下回っている。</p> <p><指導上の課題>主語・述語の理解を定着させるための反復・習熟に取り組む時間の設定に課題がみられる。</p>	⇒ 主語と述語の関係における理解を定着させるワークシートの作成若しくは、発問による反復・習熟の機会を各単元ごとに設定する。【月に1度以上の実施】
思考・判断・表現	<p><学習上の課題>国語「書くこと」の敬体と常体について及び、推敲してよりわかりやすい内容にすることにおいて、R5年度の市平均を-8pt程度下回っている。</p> <p><指導上の課題>文章を書く際の観点を確認させる方法や時間の設定に課題がみられる。</p>	⇒ 書く活動に取り組む際、評価の観点をワークシートとして配付若しくは、データ上で閲覧可能にすることで常時確認できるようにするとともに、共同編集等を活用した協働的な学びの時間を設定する。【書く単元の際に毎回】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語では「(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項」の漢字を正しく使う問題に課題がみられた。二字のうち片方の漢字は書けているが、もう一方が書けないことによる誤答が多かった。本校児童の日常生活において使用頻度が高く且つ画数が多い漢字だったため、知識・技能の定着が不十分だったと考えられる。</p> <p>算数では「A 数と計算」の除数が小数である場合の除法の問題に課題がみられた。除数が小数である場合の除法の商が、除数が整数である場合の除法の商より小さくなるという誤答が多かった。除数と商の大きさの関係の理解が不十分だったと考えられる。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語では「C 読むこと」の物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする問題に課題がみられた。解答する上で求められている記述条件が満たされていないことによる誤答が多く、問題に対する理解が不十分であると考えられる。</p> <p>算数では「B 図形」の球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係の求め方を式に表す問題に課題がみられた。立方体の体積の求め方に不要な円周率を式に表すという誤答が多かったため、情報を整理し取捨選択して考える活動を重視していきたい。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	月に一度から二度の割合で、主語と述語の関係を定着させるワークシートの作成及び、発問による反復・習熟の機会を各単元ごとに設定できた。	変更なし
思考・判断・表現	B	書く単元を学習する際、評価の観点を常時確認できるように示すことができた。また、共同編集等を活用した協働的な学びの時間も設定することができた。しかし、児童の発達段階や実態により共同編集が設定できない学年もあったので、これから定着を目指していく。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)